

## 魚沼移動教室及び岩井臨海学校の今後について

### 1 経過

魚沼移動教室・岩井臨海学校については、そのあり方について検討するため、平成30年6月より教育委員会事務局と小学校長代表者により「あり方検討会」を開催し、平成31年3月まで4回検討を重ね、検討結果がまとめられた。

その後、これまでの検討過程を保護者に周知するとともに、さらに今後の方向性について、検討を行い、以下のとおり検討結果をまとめた。

### 2 検討結果

#### (1) 魚沼移動教室

児童数の増加による宿泊施設の課題に対応し、宿泊施設を変更する。また、尾瀬ハイキングの代わりに、2泊3日の新プログラムとして豊かな自然体験活動の機会を確保し、歴史・文化体験を充実させ実施する。

#### (2) 岩井臨海学校

宿泊施設の不足等により、令和元年度をもって廃止とする。

令和2年度より文京区と協定等を締結している自治体と協働した夏季自然体験教室を行う。

(裏面参照)

### 3 校外学習の見直し

今後、教育委員会、小・中学校校長会において、小中学校9年間を通した校外学習全体としての自然体験の充実を検討していく。

### 4 今後の予定

令和元年	12月	保護者への周知
令和2年	5月	夏季自然体験教室募集開始
	7月から8月	夏季自然体験教室実施

令和2年度連携自治体における夏季自然体験教室について

1 対象者

文京区立小学校に在学する小学6年生。

2 参加費

協議中

3 申込期間

令和2年5月中（予定）

4 受入れ自治体等

受入先	自然体験事業	宿泊施設	収容人数	回数	添乗員	受入れ実績	教育的効果
福山市	漁業体験、シーカヤック等	民泊	80	3	あり	開成高、駒場東邦高など	民泊特区である福山市内海地区で宿泊をする。受入れ家庭との交流や漁業体験等を通して、他では得られない自然体験や生活力の向上が期待できる。家庭との交流により、よりよい人間関係を形成する態度を養うなどの教育的な意義が一層深まるプログラムである。
石岡市	ピザ作りキャンプ、筑波山登山等	キャンプ場	40	3	あり	新宿区と交流事業	東京から1時間程度で到着できる利便性を生かし、キャンプ場での飯盒炊さんを行う。また、里山学校での農業体験や、ガイドの説明を受けた筑波山の登山、アスレチック活動や沢遊びなど、自然体験が可能である。地域の産業等に対する理解が深められるプログラムである。
魚沼市	カヌー、万年雪ハイク等	やまびこ荘等	40	3	あり	小学校移動教室	小6の魚沼移動教室で学んだ知識を生かし、奥只見湖におけるシーカヤック体験や、銀山平での万年雪ハイクなど、魚沼市での自然体験と環境学習をさらに深めることができる。教科の内容に関わる学習や探究的な活動を効果的に展開するプログラムである。
盛岡市	農村体験	キャンプ場	40	2	あり	啄木ふるさとツアー	先人記念館等、歌人石川啄木ゆかりの場所等をめぐるとともに、さんさ踊りの体験、地元小学生との交流、県内の農業体験等を通して、盛岡市の歴史・文化を学ぶ。社会教育施設等の積極的な活用により十分に文化に触れられるよう配慮されたプログラムである。
津和野町	鮎漁、キャンプ等（3泊4日）	旧小学校（テント）	30	2	あり	つわのこどもキャンプ	つわのこどもキャンプを小6向けに川遊びや薪風呂体験、星空観察など、廃校でのテント泊を通して、林業や漁業、畜産業など、地域のキャンプの達人との触れ合う活動を重視する。野外活動を充実させた児童の自立と生活力向上を目指すプログラムである。
上天草市	ペーロン、イルカウォッチング等	県立天草自然の家	40	1	あり	近隣自治体	1670年代から上天草市に伝わるペーロンと呼ばれるボートを集団で操船し、人との協調性の醸成を図る。また、沖合に生息する野生のイルカを観察でき、東京では味わえない自然体験ができる。自然や文化などに関心をもち、積極的に取り組もうとする態度を養うプログラムである。
民間事業者	臨海学校（ライフジャケット付き耐久泳、ボディボード等）	南房総市岩井海岸民宿	80	2	あり	中央区	昭和20年代から行っている岩井海岸での臨海学校を委託事業として実施する。プールとは違う海水での泳力の違いなどの体験に加え、ボディボードなどを使用した海浜での自然体験が経験できる。（オリンピック終了後、2泊3日を2回実施）